5
セキュリティ(安全)

発信者番号通知を設定する
(番号通知)……5-2
番号非通知の電話を受けない
(非通知ガード)……5-3
特定の番号からの電話を受けない
(着信拒否)……5-4
暗証番号による認証を行う
(暗証番号変更)……5-6
ボタン操作をロックする
(キーロック)……5-7
ダイヤルをロックする
(ダイヤルロック)……5-8
紛失／盗難時に電話機をロックする
(リモートロック〔遠隔ロック〕)……5-10
ユーザの情報をロックする
(機能ロック)……5-15
管理者による制限を行う
(管理者ロック)……5-17
設定をリセットする
(リセット)……5-25

発信者番号通知を設定する（番号通知）

発信者の電話番号を表示する機能を持つ電話機にかけたとき、本電話機の電話番号を相手の電話機の画面に表示するかどうかを設定できます。

1 待ち受け画面で ◉ 5 JKL 7 PQRS

「発着信」画面が表示されます。

2 3 DEF

「番号通知」画面が表示されます。

3 次の項目より選択 → ◉

1 ON
番号通知を設定します。

2 OFF
番号通知を解除します。

発信者番号通知が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。

番号非通知の電話を受けない（非通知ガード）

発信者番号が通知されない電話がかかってきたときに、着信音を鳴らさずに相手にお断りガイダンスを流すことができます。番号非通知の理由ごとに設定します。

1 待ち受け画面で ● 5 7

「発着信」画面が表示されます。

2 1

「非通知ガード」画面が表示されます。

3 次の項目より選択 → ●

1 通知不可能
相手が国際電話など通知サービスのない電話回線を使ってかけてきたときは、電話を受けません。

2 ユーザ非通知
相手が発信者番号非通知を設定しているときは、電話を受けません。

3 公衆電話発信
相手が公衆電話からかけてきたときは、電話を受けません。

各設定画面が表示されます。

4 次の項目より選択 → ●

1 ON
非通知ガードを設定します。

2 OFF
非通知ガードを解除します。

非通知ガードが設定され、「設定しました」と表示されます。続けて他の項目を設定するときは、手順 3、4 を繰り返します。

非通知ガードを設定した場合の動作

番号非通知の電話がかかってくると
着信音を鳴らさずに、相手にお断りガイダンスを流します。
画面には「お断りガイダンス再生中」と表示されます。メッセージの再生が終了すると切断します。お断りガイダンスの再生中は ☎ を押して電話に出ることができます。
着信のあったことは、不在着信として着信履歴に記録されます。

番号非通知でライトメールが送信されてくると
ライトメールを受信せず、相手の電話機では送信に失敗します。
ライトメールがあった場合、着信履歴には「拒否」と表示されます。

お知らせ
- お買い上げ時には、すべて「OFF」に設定されています。
- 本機能の設定にかかわらず、E メール自動受信を設定している場合には、E メールは受信されます。「E メール自動受信機能を設定する」（☞ 3-25 ページ）
- 本機能は、ワイモバイルが提供する番号非通知ガードサービスとは異なります。

特定の番号からの電話を受けない（着信拒否）

着信を拒否したい相手の電話番号を登録します。電話番号を登録すると、登録した相手から電話がかかってきたときや、ライトメールが送信されてきたときに、応答しないようにすることができます。着信音・バイブ・着信画面表示は動作せず、相手側には「ツーツーツー」という音が聞こえます。登録件数は 10 件までです。
着信拒否に登録した相手から着信した場合、着信履歴には「拒否」と表示されます。

お知らせ

- 警察、消防・救急、海上保安庁への緊急通報後、5分程度は着信拒否を設定していても、機能は動作せず着信します。ただし、この5分の間に下記の操作を実行した場合は、それ以降の設定は有効となり、拒否や制限がかかります。
  - ・電源の OFF/ON
  - ・待受モード設定
  - ・オフィス番号切替
  - ・完全消去＋初期化
  - ・ソフトウェア更新

着信拒否番号を登録する

1 待ち受け画面で ● 5 7

「発着信」画面が表示されます。

2 2

暗証番号入力画面が表示されます。

3 暗証番号認証を行う

「暗証番号で認証を行う」（☞ 5-6 ページ）
認証されると、着信拒否番号の一覧画面が表示されます。電話帳に登録されている番号は名前が表示されます。

4 ✉（新規）

サブメニューが表示されます。

5 次の項目より選択 → ●

1 直接入力
番号入力画面が表示されるので、0～9、✱、#で相手の番号を入力します。

2 発着歴引用
発信履歴／着信履歴／番号メモの画面が表示されるので、● で相手先を選択します。「記録されている電話番号にかける（発信履歴／着信履歴／番号メモ）」（☞ 2-6 ページ）

3 電話帳引用
電話帳が表示されるので、必要に応じて表示方法を切り替え、相手先を選択します。「電話帳を使って電話をかける」（☞ 2-35 ページ）

6 着信拒否する番号を入力

7 ●

着信拒否番号が登録され、「登録しました」と表示されます。
続けて他の番号を設定するときは、手順 4~7 を繰り返します。

登録されている番号を確認するには
着信拒否番号の一覧画面で、● で確認したい番号を選択し、● を押します。元の画面に戻るには クリアマナー を押します。

お知らせ

- すでに着信拒否番号が 10 件登録されているときは、登録することができません。新しい番号を登録したい場合は、不要な番号を削除してください。「着信拒否番号を削除する」（☞ 5-5 ページ）
- 発信履歴／着信履歴／番号メモの画面で電話番号を選択し、● を押して 5（着信拒否登録）を押しても、着信拒否を設定することができます。

特定の番号で始まる電話をすべて拒否する

手順 5 の「直接入力」で番号のあとに「✱」を付けると、先頭から「✱」までの番号で始まる電話番号からの着信はすべて拒否されます。例えば「0901 ✱」と入力すると、「0901」で始まる電話番号すべてが拒否対象になります。

お知らせ

- 以下の場合は登録できません。
  - 「✱」が電話番号の先頭に入力されている場合
  - 「✱」が 2 つ以上入力されている場合
  - 「✱」の後ろに番号が入力されている場合

着信拒否番号を削除する

着信拒否に登録した番号を削除します。

1 待ち受け画面で ● 5 7

「発着信」画面が表示されます。

2 2

暗証番号入力画面が表示されます。

3 暗証番号認証を行う

「暗証番号で認証を行う」（☞ 5-6 ページ）
認証されると、着信拒否番号の一覧画面が表示されます。電話帳に登録されている番号は名前が表示されます。

4 ● で削除する着信拒否番号を選択

登録されている番号を確認するには
番号を選択して、● を押します。元の画面に戻るには クリア/マナー を押します。

5 ··

サブメニューが表示されます。

6 次の項目より選択 → ●

1 一件削除
選択した着信拒否番号 1 件だけを削除します。

2 選択削除
着信拒否画面が表示されます。次の手順を行ってください。

1 ● で削除する着信拒否番号を選択 → ●（チェック）

着信拒否番号の先頭に「☑」が付きます。
チェックを外すときは、再度 ●（チェック）を押します。
全件選択する場合は、·· 1（全件選択）を押します。
チェックをすべて外す場合は、·· 2（全件解除）を押します。

2 ✉（削除）

3 全件削除
すべての着信拒否番号を削除します。

確認メッセージが表示されます。

7 ● で「Yes」を選択 → ●

着信拒否番号が削除され、「削除しました」と表示されます。

暗証番号による認証を行う（暗証番号変更）

電話帳ロック、ダイヤルロック、電話帳のシークレットデータの表示、リセット、機能ロックなどの操作を行う際には、暗証番号による認証が必要となります。
また、ここで説明する暗証番号のほかに、管理者の認証用にパスワードを登録することもできます。「管理者パスワードを設定する」（☞ 5-17 ページ）

暗証番号を設定する

暗証番号は、４～８桁で設定します。暗証番号には、０～９の数字と「＊」、「＃」が使用できます。お買い上げ時は「0000」に設定されています。

1 待ち受け画面で ● 9wxyz 2abc

「暗証番号変更」画面が表示されます。

2 □ ～ 9wxyz、＊、＃ で現在の暗証番号を入力 → ●

「新しい暗証番号を入力してください」と表示されます。
暗証番号が間違っているときは、「暗証番号が違います」と表示され、手順１の「暗証番号変更」画面に戻ります。

3 □ ～ 9wxyz、＊、＃ で新しい暗証番号を入力 → ●

「もう１度新しい暗証番号を入力してください」と表示されます。

4 確認のため、もう一度、□ ～ 9wxyz、＊、＃ で新しい暗証番号を入力 → ●

新しい暗証番号が設定され、「設定しました」と表示されます。

新しい暗証番号の入力が、１回目と２回目で異なっていたとき

エラー音が鳴り、「新しい暗証番号が正しくありません」と表示されます。もう一度、手順３、４を繰り返してください。

管理者パスワードがお買い上げ時の設定のままのとき

「管理者パスワードが初期値です　暗証番号と同じ番号にしますか？」と表示されます。管理者パスワードを暗証番号と同じ番号に変更する場合は ● で［Yes］を、管理者パスワードを変更しない場合は ● で［No］を選択し、● を押します。「管理者パスワードを設定する」（☞ 5-17 ページ）

お知らせ

- 設定した暗証番号をお忘れになったときは、修理で対応させていただきます。JRC モビリティサポートセンターまでお申し出ください。「お問い合わせ窓口」（☞ A-9 ページ）

暗証番号で認証を行う

操作中に暗証番号による認証画面が表示された場合は、以下のように認証を行ってください。

1 □ ～ 9wxyz、＊、＃ で４～８桁の暗証番号を入力 → ●

暗証番号が正しいと、次の画面に進みます。

暗証番号が間違っているときは

「暗証番号が違います」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、暗証番号は「0000」に設定されています。
- 入力した番号を修正する場合は、クリア/マナー を押します。入力した数字が右端から消えます。

ボタン操作をロックする（キーロック）

鞄に入れて持ち運ぶときなどに、誤ってボタンが押されても動作しないようにロックできます。

キーロックを設定する

1 キーロックスイッチを上げる

キーロックが設定され、「キーロック」と表示されます。
キーロックスイッチは本体右側の側面にあります。「各部の名前」（☞ 1-8 ページ）

キーロックを解除する

1 キーロックスイッチを下げる

キーロックが解除され、「キーロック」の表示が消えます。

お知らせ

- キーロック中でもかかってきた電話は受けることができます。
- キーロック中でも、メール受信やアラームは動作します。着信音やバイブは、(PWR) を押すことで停止できます。
- キーロック中は、(PWR) を押して電源を切ることができません。
  キーロック中も、(PWR) を押して電源を入れることができます。
- 待ち受け画面以外でもキーロックは設定できますが、そのまま 10 分経つと待ち受け画面に戻ります。

ダイヤルをロックする（ダイヤルロック）

他の人に無断で利用されないようにダイヤルをロックして、電話をかけられないようにできます。

お知らせ
- ダイヤルロック中でも、以下の操作は可能です。
  - 電源の ON・OFF
  - 着信電話への応答
  - 通話の保留
  - 留守録音
  - 110番、118番、119番の緊急通報への発信
  - メールの受信など

キーロック時にダイヤルロックする（キーロック起動）

キーロック起動を設定すると、キーロックを設定した際、自動的にダイヤルをロックします。キーロック起動を設定するには、暗証番号の入力が必要になります。

1 待ち受け画面で ● 9wxyz 1

「ダイヤルロック」画面が表示されます。

2 1

暗証番号入力画面が表示されます。

3 暗証番号認証を行う

「暗証番号で認証を行う」（☞ 5-6 ページ）

4 次の項目より選択 → ●

1 ON
キーロック起動を設定します。
→手順 5 へ

2 OFF
キーロック起動を解除します。

キーロック起動が設定され、「設定しました」と表示されます。

5 キーロックスイッチを上げる

キーロックと同時に、ダイヤルロックが実行されます。待ち受け画面に「D」が表示されます。

お知らせ
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- キーロック起動が「ON」の場合、電源を入れ直すとダイヤルロックが実行されます。
- キーロック起動が「ON」でも、待ち受け画面以外でキーロックスイッチを操作した場合はすぐにはダイヤルロックにならず、待ち受け画面に戻ったときにダイヤルロックが実行されます。

■ ダイヤルロックを解除するには

1 画面上に「キーロック」と表示されている場合は、キーロックスイッチを下げる

画面上に「キーロック」と表示されていない場合は、手順 2 から操作します。

2 ロ ～ 9wxyz のいずれか

暗証番号入力画面が表示されます。

3 暗証番号認証を行う

「暗証番号で認証を行う」（☞ 5-6 ページ）
ダイヤルロックが解除され、「D」の表示が消えます。

お知らせ
- 手順 2 では、↩ 以外のいずれかのボタンを押しても手順 3 に進めます。

無操作が続いたときにダイヤルロックする（タイマ起動）

待ち受け画面表示のまま操作していない状態が続いたとき、自動的にダイヤルロックがかかるように設定することができます。

1 待ち受け画面で ● 9wxyz 1

「ダイヤルロック」画面が表示されます。

2 2abc

暗証番号入力画面が表示されます。

3 暗証番号認証を行う

「暗証番号で認証を行う」（☞ 5-6 ページ）

4 次の項目より選択 → ●

1 ON

タイマ起動を設定します。
タイマ起動時間の設定画面が表示されます。
→手順 5 へ

2 OFF

タイマ起動が解除され、「設定しました」と表示されます。

5 0 ～ 9wxyz で時間を入力 → ●

タイマ起動が設定され、「設定しました」と表示されます。

タイマ起動設定中の動作

待ち受け画面表示のまま操作していない状態が、手順 5 で入力した時間だけ続くと、自動的にダイヤルロックが実行されます。
待ち受け画面には「 D 」が表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」、「5 分」に設定されています。
- タイマ起動が「ON」の場合、電源を入れ直すとダイヤルロックが実行されます。
- 自動的にダイヤルロックがかかるまでの時間は、1 ～ 99 分の間で設定できます。

■ ダイヤルロックを解除するには

1 0 ～ 9wxyz のいずれか

暗証番号入力画面が表示されます。

2 暗証番号認証を行う

「暗証番号で認証を行う」（☞ 5-6 ページ）
ダイヤルロックが解除され、「解除しました」と表示された後「 D 」の表示が消えます。
この場合、待ち受け画面表示のまま操作していない状態が設定した時間だけ続くと、再度タイマ起動が実行されます。

お知らせ

- 手順 1 では、C 以外のいずれかのボタンを押しても、手順 2 に進めます。

紛失/盗難時に電話機をロックする(リモートロック(遠隔ロック))

リモートロック機能の概要

本電話機をどこかに置き忘れたり紛失したりした場合、個人情報の漏洩や電話機の悪用などを防ぐために、「リモートロック」機能を利用できます。他の電話機から本電話機にコマンド(命令)を送信することで、電話機をロックして使用できなくしたり、登録されているデータを消去したりできます。

■ リモートロック機能でできる処理

① **リモートロック**
電話機をロックして、ほとんどの操作ができないようにします。
着信を受けて通話することや、電源の ON・OFF は可能ですが、発信、メール作成・送信はできなくなります。電話帳や発信履歴/着信履歴などを見ることもできません。また、エニーキーアンサーの設定も無効になります。「エニーキーアンサーを設定する」(☞ 6-15 ページ)

② **リモートロック+データ消去**
①に加え、電話機に登録されているデータ・設定情報を、一括して消去・初期化します。消去・初期化される項目は、「完全消去+初期化」で消去・初期化される項目とほぼ同じです。「設定をリセットする(リセット)」(☞ 5-25 ページ)
ただし、以下の項目は初期化されません。

- **暗証番号**
「暗証番号を設定する」(☞ 5-6 ページ)
- **リモートロック設定**「リモートロック機能の設定をする」(☞ 5-11 ページ)
- **ダイヤルロック**「ダイヤルをロックする(ダイヤルロック)」(☞ 5-8 ページ)
- **機能ロック**「ユーザの情報をロックする(機能ロック)」(☞ 5-15 ページ)
- **管理者ロック**「管理者による制限を行う(管理者ロック)」(☞ 5-17 ページ)
- **管理者パスワード**「管理者パスワードを設定する」(☞ 5-17 ページ)
- **位置情報通知**「位置情報を利用する」(☞ 6-34 ページ)

③ **リモートロック解除**
リモートロックを解除し、通常の操作ができる状態に戻します。

■ リモートロックの実行

上記①~③の各処理は、以下のいずれかの方法でコマンドを送信することにより実行します。

- サブアドレス付き発信(サブアドレス通知可能な PHS 電話機や、ISDN 公衆電話機などの ISDN 対応電話機から)
- ライトメール送信(ライトメール対応の PHS 電話機から)

コマンドを送信すると、本電話機はコマンド実行待ちの状態になります。その後、本電話機に対しキー入力・USB ケーブル抜き差しなどの操作がされた時点で、コマンドが実行され、上記①②の場合は待ち受け画面の下部に「☆☆☆☆☆☆」と表示されます。

お知らせ

- リモートロックを実行すると、着信者表示機能、指定着信音機能、留守録は無効になります。「電話帳を利用する」(☞ 2-31 ページ)「電話やメールの着信音を選択する」(☞ 2-34 ページ)「留守録音を設定する」(☞ 2-55 ページ)
- リモートロックを実行すると、アラーム、スケジュールアラームは起動しません。
- リモートロックを実行すると、設定していた壁紙は非表示になります。ロックを解除すると再表示されます。
- 「リモートロック」、「リモートロック+データ消去」のコマンドを送信した場合も、キー入力などの操作がされないうちに「リモートロック解除」のコマンドを送信すれば、前のコマンドは無効となり、ロックやデータ消去は実行されません。
- 悪意のあるいたずらや操作の誤りなどにより、リモートロック機能でデータが消去された場合でも、当社としては責任を負いかねます。第三者にリモートロック機能を使用されたくない場合は、設定を OFF にしてください。
- リモートロックを実行するには、「リモートロック機能用の許可パスワード」と「ライトメール起動 ON(番号制限なし)」を設定する必要があります。「許可パスワードを登録する(許可パスワード登録)」(☞ 5-11 ページ)、「ライトメールでのリモートロックの設定をする(ライトメール起動)」(☞ 5-12 ページ)

リモートロック機能の設定をする

リモートロック機能を利用する準備として、許可パスワードを設定します。また、サブアドレス付き発信による操作、ライトメールによる操作について、それぞれ設定を行います。

許可パスワードを登録する（許可パスワード登録）

最初に、リモートロック機能用の許可パスワードを登録します。
許可パスワードは、4～8桁の数字で設定します。
実際にリモートロック機能を使う際には、ここで登録した許可パスワードを入力してコマンド（命令）を送信することになります。

1 待ち受け画面で ● 9 3

暗証番号入力画面が表示されます。

2 暗証番号認証を行う

「暗証番号で認証を行う」（☞ 5-6 ページ）
「リモートロック」画面が表示されます。

3 1

「起動許可パスワードを入力して下さい（4～8桁）」と表示されます。

4 0 ～ 9 でパスワードを入力

入力したパスワードを修正する場合は
クリアマナー を押します。入力した数字が右端から消えます。

5 ●

許可パスワードが登録され、「登録しました」と表示されます。

お知らせ

- 設定したパスワードを忘れないようご注意ください。忘れると、本電話機を紛失などした場合にリモートロック機能が使用できません。

サブアドレス付き発信でのリモートロックの設定をする（サブアドレス起動）

サブアドレス付き発信によってリモートロックなどの操作ができるように設定します。
特定の電話番号からの操作だけを許可するよう制限することもできます。この許可電話番号は2件まで登録できます。
許可電話番号を登録しない場合は、どの電話番号からでも操作が実行できます。

1 待ち受け画面で ● 9 3

暗証番号入力画面が表示されます。

2 暗証番号認証を行う

「暗証番号で認証を行う」（☞ 5-6 ページ）
「リモートロック」画面が表示されます。

3 2

「サブアドレス起動」画面が表示されます。

許可パスワードが未設定のとき
リモートロック機能用の許可パスワードが未設定の場合、2（サブアドレス起動）は選択できません。先にパスワードを設定してください。
「許可パスワードを登録する（許可パスワード登録）」（☞ 5-11 ページ）

4 次の項目より選択 → ●

1 ON（番号制限あり）
許可電話番号の登録先を選択する画面が表示されます。→手順5へ

2 ON（番号制限なし）
「ON（番号制限なし）」に設定され、「設定しました」と表示されます。どの電話番号からでも、サブアドレス付き発信でのリモートロック操作ができます。

3 OFF
「OFF」に設定され、「設定しました」と表示されます。サブアドレス付き発信でのリモートロック操作は実行できません。

5 1 2 のどちらかを選択 → ●

許可電話番号の入力画面が表示されます。

6 0 ～ 9 で許可電話番号を入力

電話番号を修正するには

● で修正したい箇所にカーソルを移動します。番号を削除するときは、クリアマナー を押します。

7 ●

許可電話番号の登録先を選択する画面に戻ります。次の許可電話番号を登録するときは、手順5~7を繰り返します。

8 ✉（登録）

許可電話番号が登録され、「登録しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- 許可電話番号は32桁まで入力できます。

ライトメールでのリモートロックの設定をする（ライトメール起動）

ライトメールでリモートロックなどの操作ができるように設定します。
特定の電話番号からの操作だけを許可するよう制限することもできます。この許可電話番号は2件まで登録できます。
許可電話番号を登録しない場合は、どの電話番号からでもライトメールで操作が実行できます。

1 待ち受け画面で ● 9 3

暗証番号入力画面が表示されます。

2 暗証番号認証を行う

「暗証番号で認証を行う」（☞ 5-6 ページ）
「リモートロック」画面が表示されます。

3 3

「ライトメール起動」画面が表示されます。

許可パスワードが未設定のとき

リモートロック機能用の許可パスワードが未設定の場合、3（ライトメール起動）は選択できません。先にパスワードを設定してください。
「許可パスワードを登録する（許可パスワード登録）」（☞ 5-11 ページ）

4 次の項目より選択 → ●

1 ON（番号制限あり）
許可電話番号の登録先を選択する画面が表示されます。→手順5へ

2 ON（番号制限なし）
「ON(番号制限なし)」に設定され、「設定しました」と表示されます。どの電話番号からでもライトメールによるリモートロック操作ができます。

3 OFF
「OFF」に設定され、「設定しました」と表示されます。ライトメールでのリモートロック操作は実行できません。

5 1、2 のどちらかを選択 → ●

許可電話番号の入力画面が表示されます。

6 0 ～ 9 で許可電話番号を入力

電話番号を修正するには

● で修正したい箇所にカーソルを移動します。番号を削除するときは、クリアマナー を押します。

7 ●

許可電話番号の登録先を選択する画面に戻ります。次の許可電話番号を登録するときは、手順5~7を繰り返します。

8 ✉（登録）

許可電話番号が登録され、「登録しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- 許可電話番号は32桁まで入力できます。

リモートロックを実行する

本電話機を紛失などした場合に、他の電話機からのサブアドレス付き発信またはライトメールにより、リモートロックやデータ消去を実行します。

サブアドレス付き発信で実行する

サブアドレス通知可能なPHS電話機や、ISDN公衆電話機などのISDN対応電話機から発信することにより、本電話機に対しリモートロックなどの操作を実行します。
本電話機の電話番号のあとに、サブアドレスとしてコマンド文字列を入力し、発信します。

■ 許可電話番号が設定されている場合

本電話機が、特定の電話番号（許可電話番号）からの操作だけを受け付けるよう設定されている場合は、その電話番号の電話機から発信する必要があります。「サブアドレス付き発信でのリモートロックの設定をする（サブアドレス起動）」（☞ 5-11 ページ）
この場合、許可電話番号から発信しても、発信者番号が非通知または通知不可能になっていると、操作は実行されません。

■ コマンド文字列

操作の種類	コマンド文字列
①リモートロック	01xxxxxxxx
②リモートロック＋データ消去	03xxxxxxxx
③リモートロック解除	00xxxxxxxx

xxxxxxxx は、リモートロック機能用の許可パスワードを示します。「許可パスワードを登録する（許可パスワード登録）」（☞ 5-11 ページ）

■ 入力例

電話番号「070-1234-XXXX」、許可パスワード「1234567」の電話機に対してリモートロックを実行する場合は、下記のように入力し、発信します。

0701234XXXX ＊ 011234567

電話番号とサブアドレスの間の区切り記号（上記の例の「＊」）は、電話機によって異なります。発信に使用する電話機の取扱説明書を参照してください。

お知らせ

- 受信側の電話機（本電話機）が電波の届かない場所（圏外）にある場合や、電源が入っていない場合、この機能は使用できません。
- 受信側の電話機（本電話機）の待受モードが「グループモード」になっている場合、この機能は使用できません。
- コマンド文字列は正しく入力してください。間違いがあると、リモートロックなどの操作は実行されません。
- この機能でコマンドを送信した場合、受信側の電話機（本電話機）に着信履歴は残りません。また、受信時に着信音は鳴りません。着信イルミネーション、リマインダーも点灯しません。
- 正しいコマンドが送信されると、送信側の電話機には「ピポ」という確認音が聞こえます。
- オフィスモードの場合、使用しているオフィスシステム（PBX）によっては、確認音が鳴らないことがあります。

ライトメールで実行する

他の電話機からライトメールでコマンド（命令）を送信することにより、本電話機に対しリモートロックなどの操作を実行します。
ライトメールの宛先に本電話機の電話番号を、本文にコマンド文字列を入力して送信します。

■ 許可電話番号が設定されている場合

本電話機が、特定の電話番号（許可電話番号）からの操作だけを受け付けるよう設定されている場合は、その電話番号の電話機からライトメールを送信する必要があります。「ライトメールでのリモートロックの設定をする（ライトメール起動）」（☞ 5-12 ページ）
この場合、許可電話番号からライトメールを送信しても、発信者番号が非通知または通知不可能になっていると、操作は実行されません。

■ コマンド文字列

操作の種類	コマンド文字列
①リモートロック	ソウサ 1xxxxxxxx
②リモートロック＋データ消去	ソウサ 3xxxxxxxx
③リモートロック解除	ソウサ 0xxxxxxxx

コマンド文字列は、全角・半角のどちらでも有効です。
xxxxxxxx は、リモートロック機能用の許可パスワードを示します。「許可パスワードを登録する（許可パスワード登録）」（☞ 5-11 ページ）

■ 入力例

電話番号「070-1234-XXXX」、許可パスワード「1234567」の電話機に対してリモートロックを実行する場合は、ライトメールの画面で To 欄に「0701234XXXX」、本文欄に「ソウサ 11234567」と入力し、送信します。

お知らせ

- 受信側の電話機（本電話機）が電波の届かない場所（圏外）にある場合や、電源が入っていない場合、この機能は使用できません。
- 受信側の電話機（本電話機）の待受モードが「グループモード」になっている場合、この機能は使用できません。
- コマンド文字列は正しく入力してください。間違いがあると、リモートロックなどの操作は実行されません。
- コマンド文字列に他の文字（空白、改行を含む）を入力したり、アニメーション絵文字を付けて送信したりすると、正しいコマンドとして認識されません。
- コマンド送信用のライトメールおよびその着信履歴は、受信側の電話機（本電話機）には残りません。また、受信時に着信音は鳴りません。着信イルミネーション、リマインダーも点灯しません。
- ライトメールが正常に送信されると、送信側の電話機にはライトメール送信終了画面が表示されますが、これは必ずしも受信側の電話機（本電話機）がコマンドを正しく受信したことを示すものではありません。

ユーザの情報をロックする（機能ロック）

本電話機内に保存されているユーザの情報を保護するために、一部の機能をロックすることができます。機能ロックを設定すると、機能を使うときやデータを閲覧するときに暗証番号による認証が必要になります。

ロックする項目を設定する

1 待ち受け画面で ◉ 9wxyz 5jkl

暗証番号入力画面が表示されます。

2 暗証番号認証を行う

「暗証番号で認証を行う」（☞ 5-6 ページ）
「機能ロック」一覧画面が表示されます。

3 ◉（変更）

ロックする機能が選択可能になります。

4 ロックする機能を選択

ロックする機能にチェックを付け、ロックを解除する機能はチェックを外します。

1 件ずつ選択するには

◉ で設定する機能を選択し、◉（チェック）を押します。機能の先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、再度 ◉（チェック）を押します。

全件選択するには

･･ を押し、サブメニューで 1 *（全て選択）を押します。すべての機能の先頭に「☑」が付きます。チェックを外すときは、･･ を押し、サブメニューで 2abc（全て解除）を押します。

5 ✉（完了）

ロックが設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、すべて「解除」に設定されています。
- 手順 4 で「スケジュール」を選択して「スケジュール」を機能ロックした場合は、◉ 5jkl 3def を押して 3def（カレンダー表示）を押したときに、9wxyz（スケジュールカレンダー）を選択できなくなります。また、壁紙をスケジュールカレンダーに設定しているときに「スケジュール」を機能ロックすると、自動的に壁紙が 1 ヶ月カレンダーに変更されます。
- ロックした機能を呼び出そうとしたときは、認証画面が表示されます。暗証番号による認証を行うと、機能が一時的に解除され使用することができます。他の機能の画面を表示すると、自動的にロック状態に戻ります。
- ロックした情報を他の機能から参照する場合も認証が必要になります。例えば、メモ録音がロックされていると、留守録音の音声を録音データから選択する場合にも認証が必要です。

機能ロック一覧

機能ロックによって認証が必要になる機能は以下のとおりです。

機能ロック	認証が必要になる機能
プロフィール	プロフィールの表示、編集、引用
メール	メール関連機能
スケジュール	スケジュールの表示、編集
メモ録音	録音データの再生
メモ帳	メモ帳の表示、編集、引用
グループ	グループの登録、削除
インターネット設定	インターネット設定、オンラインサインアップ
電話帳	電話帳の表示、引用
ユーザ辞書	ユーザ辞書の表示、編集
自作定型文登録	自作定型文の表示、編集、引用
発着履歴／メモ	発信履歴の表示、着信履歴の表示、番号メモの表示

お知らせ

- 電話帳ロック中は、電話帳の登録や編集は行えません。
- 電話帳ロック中は、電話着信の際は名前は表示されません。ただし、「ロック中着信表示」を「ON」にした場合は、表示されます。「電話帳ロック中の着信表示を設定する」（☞ 2-41 ページ）
- 電話帳ロック中は、録音データの通話録音データ・留守録音データも電話帳の名前は表示されません（電話番号のみの表示になります）。

管理者による制限を行う（管理者ロック）

管理者ロック機能の概要

管理者が本電話機の機能の一部に制限をかけ、情報漏洩の防止や、業務に必要のない機能の利用を制限することができます。制限できる機能は以下のとおりです。

- Eメール機能
- オンラインサインアップ
- ダイヤルアップ機能
- USB 接続機能
- 着信機能
- 発信機能
- 赤外線送受信
- 先頭一致発信許可
- 機能ロック設定
- 位置情報通知設定
- リモートロック設定
- ダイヤルロック設定

■ 管理者ロック機能でできる処理

管理者ロックでは、Eメールの送受信、USB接続などの機能を使用できないようにしたり、ダイヤルアップの接続先をワイモバイルに限定したりできます。また、電話帳に登録されている番号に限定して発着信を許可したり、電話番号の先頭の数桁が、あらかじめ登録した番号と一致する場合のみ発信を許可したりするなど一部の機能を制限することができます。

お知らせ

- 管理者ロック機能を利用するには、管理者パスワードによる認証が必要です。「管理者パスワードを設定する」（☞ 5-17 ページ）
- 管理者パスワードと管理者ロックの各種設定は、完全消去＋初期化をすると初期値に戻ります。「設定をリセットする（リセット）」（☞ 5-25 ページ）
- 管理者ロック機能をご利用になる場合は、目的とする制限がかかることを実際に動作確認いただいた後に、ご利用いただきますようお願い致します。設定の誤りや、動作確認を行っていなかったことにより、目的とする制限がかからなくても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

管理者パスワードを設定する

管理者ロックの設定や完全消去＋初期化を実行するには、管理者パスワードの入力が必要です。管理者パスワードは、4 ～ 8 桁で設定します。管理者パスワードには、0 ～ 9 の数字と「＊」、「＃」が使用できます。お買い上げ時は「0000」に設定されています。

1 待ち受け画面で [●] [9wxyz] [6mno]

「管理者パスワードを入力して下さい」と表示されます。

2 [0] ～ [9wxyz]、[＊]、[＃] で現在の管理者パスワードを入力 → [●]

「新しい管理者パスワードを入力して下さい」と表示されます。

3 [0] ～ [9wxyz]、[＊]、[＃] で新しい管理者パスワードを入力 → [●]

「もう 1 度新しい管理者パスワードを入力して下さい」と表示されます。

4 確認のため、もう一度、[0] ～ [9wxyz]、[＊]、[＃] で新しい管理者パスワードを入力 → [●]

新しい管理者パスワードが設定され、「設定しました」と表示されます。

新しい管理者パスワードの入力が、1回目と2回目で異なっていたとき

エラー音が鳴り、「新しい管理者パスワードが正しくありません」と表示されます。もう一度、手順 3、4 を繰り返してください。

お知らせ

- 設定した管理者パスワードをお忘れになったときは、修理で対応させていただきます。JRC モビリティサポートセンターまでお申し出ください。「お問い合わせ窓口」(☞ A-9 ページ)
- 完全消去＋ 初期化をすると、管理者パスワードは、お買い上げ時の設定「0000」に戻ります。
- 管理者パスワードが初期値（「0000」）の場合、暗証番号の設定時に管理者パスワードを暗証番号と同じ番号に設定することもできます。「暗証番号を設定する」(☞ 5-6 ページ)

管理者パスワードで認証を行う

操作中に管理者パスワードによる認証画面が表示された場合は、以下のように認証を行ってください。

1 [0] ～ [9]、[＊]、[＃] で 4 ～ 8 桁の管理者パスワードを入力 → [◉]

管理者パスワードが正しいと、次の画面に進みます。

管理者パスワードが間違っているときは

「管理者パスワードが違います」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「管理者パスワード」は「0000」に設定されています。
- 入力した番号を修正する場合は、[クリア/マナー] を押します。入力した数字が右端から消えます。

管理者ロック機能の設定をする

管理者ロック機能の設定には、E メール制限、オンラインサインアップ制限、ダイヤルアップ制限、USB 制限、発信制限、着信制限、先頭一致発信許可、赤外線制限、位置情報通知設定制限、機能ロック設定制限、ダイヤルロック設定制限、リモートロック設定制限があります。

E メールを制限する

E メールの作成、送受信ができないようにします。

1 待ち受け画面で [◉][9][7]

「管理者パスワードを入力して下さい」と表示されます。

2 管理者パスワード認証を行う

「管理者パスワードで認証を行う」(☞ 5-18 ページ)

「管理者ロック」画面が表示されます。

3 [1]

「E メール制限」画面が表示されます。

4 次の項目より選択 → [◉]

1 送受信共に制限

E メールの作成、E メールの送受信ができないようにします。

2 送信のみ制限

E メールの作成、E メールの送信ができないようにします。

3 OFF

E メール制限を解除します。

E メール制限が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- E メール制限を「送受信共に制限」に設定した後、ワイモバイルのメールサーバから E メール自動受信の通知を受けた場合は、「センターに E メールがあります」と表示され、E メールの受信は行いません。また、待ち受け画面に「[✉]」が点灯します。「センターメールあり」を選択し、[◉] を押すと「E メール制限設定中です」と表示されます。「E メールを受信する」(☞ 3-11 ページ)
- E メール制限を「送受信共に制限」または「送信のみ制限」に設定しても、オフィスモードでの E メール送受信は制限されません。

オンラインサインアップを制限する

オンラインサインアップができないようにします。

1 待ち受け画面で ● 9 7

「管理者パスワードを入力して下さい」と表示されます。

2 管理者パスワード認証を行う

「管理者パスワードで認証を行う」（☞ 5-18 ページ）
「管理者ロック」画面が表示されます。

3 2

「オンラインサインアップ制限」画面が表示されます。

4 次の項目より選択 → ●

1 ON
オンラインサインアップ制限を設定します。

2 OFF
オンラインサインアップ制限を解除します。

オンラインサインアップ制限が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- オンラインサインアップ制限を「ON」に設定した場合、オンラインサインアップをすると、「オンラインサインアップ制限設定中です」と表示されます。

ダイヤルアップを制限する

ワイモバイルへのダイヤルアップ接続のみを許可し、ワイモバイル以外のプロバイダにダイヤルアップ接続することができないようにします。ダイヤルアップの接続先の電話番号が、ワイモバイルのダイヤルアップ接続の電話番号の先頭 9 桁と一致した場合のみ、ダイヤルアップ接続が可能になります。

1 待ち受け画面で ● 9 7

「管理者パスワードを入力して下さい」と表示されます。

2 管理者パスワード認証を行う

「管理者パスワードで認証を行う」（☞ 5-18 ページ）
「管理者ロック」画面が表示されます。

3 3

「ダイヤルアップ制限」画面が表示されます。

4 次の項目より選択 → ●

1 Y!mobile のみ許可
ワイモバイルへのダイヤルアップ接続のみを許可します。

2 OFF
ダイヤルアップ制限を解除します。

ダイヤルアップ制限が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ
- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- ダイヤルアップ制限を「Y!mobile のみ許可」に設定した場合、ワイモバイルへのダイヤルアップ番号以外で、E メール送受信をすると、「ダイヤルアップ制限設定中です」と表示されます。
- ダイヤルアップ制限を「Y!mobile のみ許可」に設定しても、オフィスモードでのダイヤルアップ接続は制限されません。

USB 接続を制限する

USB 接続をして使用する機能（データ通信）への接続ができないようにします。

1 待ち受け画面で ● 9 7

「管理者パスワードを入力して下さい」と表示されます。

2 管理者パスワード認証を行う

「管理者パスワードで認証を行う」（☞ 5-18 ページ）
「管理者ロック」画面が表示されます。

3 4

「USB 制限」画面が表示されます。

4 次の項目より選択 → ◉

1 ON
USB 制限を設定します。

2 OFF
USB 制限を解除します。

USB 制限が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ
- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- USB 制限を「ON」に設定した場合、USB 接続をして使用する機能を実行しようとすると、パソコン上でエラーとなります。
- USB 制限を「ON」に設定した場合でも、USB 充電は可能です。

発信を制限する

電話帳に登録されている電話番号（シークレットの電話帳データも含む）のみ、発信とライトメールの送信ができるようにし、それ以外の電話番号への発信ができないようにします。

1 待ち受け画面で ◉ 9wxyz 7pqrs

「管理者パスワードを入力して下さい」と表示されます。

2 管理者パスワード認証を行う

「管理者パスワードで認証を行う」（☞ 5-18 ページ）

「管理者ロック」画面が表示されます。

3 5jkl

「発信制限」画面が表示されます。

4 次の項目より選択 → ◉

1 ON（電話帳編集不可）
発信制限を設定します。電話帳の登録、修正、削除はできません。

2 ON（電話帳編集可）
発信制限を設定します。電話帳の登録、修正、削除は可能です。

3 OFF
発信制限を解除します。

発信制限が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ
- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- 発信制限を「ON」に設定しても、オフィスモード、グループモードでの発信は制限されません。
- 発信制限を「ON」に設定した場合、位置情報通知機能（自己位置通知機能の「位置情報とステータスコードの登録）の発信も制限されます。発信を許可したい場合は、「＊ステータスコード＊」を電話帳に発信先電話番号として登録するか、先頭一致発信許可番号として登録してください。「自己位置通知機能を利用する」（☞ 6-36 ページ）
- 発信制限を「ON」に設定した場合でも、先頭に 184 または 186 を付けて発信することは可能です。
- 発信制限を「ON」に設定した場合でも、以下の発信は可能です。
  110（警察）、116（ワイモバイル カスタマーセンター）、117（時報）、118（海上保安庁）、119（消防等）、141（留守番電話サービスメッセージあり確認）、143（留守番電話のカスタマーコントロール）、157（データ通信専用窓口）、171（災害時伝言ダイヤル）、177（天気予報）、＊931（留守番電話サービス再生）
- 発信制限を「ON」に設定し、同時に先頭一致発信許可も設定している場合は、電話帳に登録されている電話番号に加えて、先頭一致発信許可で設定した電話番号への発信も可能です。
- 発信制限を「ON」に設定していても、パソコンと本電話機をUSB接続することによって、電話帳を書き換えることができます。発信制限をより確実に行うためには、USB 接続の制限も同時に設定してください。「USB 接続を制限する」（☞ 5-19 ページ）

着信を制限する

電話帳に登録されている電話番号（シークレットの電話帳データも含む）のみ、着信とライトメールの着信ができるようにし、それ以外の電話番号から着信ができないようにします。

1 待ち受け画面で ◉ 9wxyz 7pqrs

「管理者パスワードを入力して下さい」と表示されます。

2 管理者パスワード認証を行う

「管理者パスワードで認証を行う」（☞ 5-18 ページ）

「管理者ロック」画面が表示されます。

3 6 MNO

「着信制限」画面が表示されます。

4 次の項目より選択 →

1 ON
着信制限を設定します。

2 OFF
着信制限を解除します。

着信制限が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- 着信制限を「ON」に設定しても、オフィスモード、グループモードでの着信は制限されません。
- 着信制限を「ON」に設定した場合、電話帳に登録されている電話番号（シークレットの電話帳データも含む）以外からの着信があったときは、着信音やバイブレータは動作せず、相手側には「ツーツーツー」という音が聞こえます。着信を制限された相手からの着信は、着信履歴に残りません。
- 着信制限を「ON」に設定した場合、電話帳の登録、修正、削除ができなくなります。
- 着信制限を「ON」に設定した場合でも、110（警察）、118（海上保安庁）、119（消防等）からの着信は可能です。また、ワイモバイルからのメール通知は着信できます。
- 着信制限を「ON に設定した場合でも、警察、消防・救急、海上保安庁への緊急通報後、5分程度は制限されません。ただし、この5分の間に下記の操作を実行した場合は、それ以降の設定は有効となり、拒否や制限がかかります。
  ・電源の OFF/ON　・待受モード設定
  ・オフィス番号切替　・完全消去＋初期化
  ・ソフトウェア更新
- 電話帳に登録されている電話番号からの着信でも、着信拒否が設定されている相手から電話がかかってきたりライトメールが送られてきたりしたときには、着信を拒否します。「特定の番号からの電話を受けない（着信拒否）」（☞ 5-4 ページ）
- 着信制限を「ON」に設定していても、パソコンと本電話機を USB 接続することによって、電話帳を書き換えることができます。着信制限をより確実に行うためには、USB 接続の制限も同時に設定してください。「USB 接続を制限する」（☞ 5-19 ページ）

先頭一致発信を許可する

先頭一致発信とは、あらかじめ登録した電話番号の先頭数桁と、ダイヤルした電話番号とが一致した場合に発信を許可する機能です。
ダイヤルした電話番号が、登録した番号と一致すれば発信することができます。
先頭一致発信許可番号は、10件まで登録できます。先頭一致発信許可番号の10件すべてが、「未登録」の場合には、先頭一致発信許可機能は動作せず、すべての電話番号が発信可能となります。

1 待ち受け画面で 9 WXYZ 7 PQRS

「管理者パスワードを入力して下さい」と表示されます。

2 管理者パスワード認証を行う

「管理者パスワードで認証を行う」（☞ 5-18 ページ）
「管理者ロック」画面が表示されます。

3 7 PQRS

「先頭一致発信許可」画面が表示されます。

4 1〜3の項目より選択 →

許可電話番号の入力画面が表示されます。

5 ダイヤルボタンで先頭一致発信許可番号を入力

先頭一致発信許可番号は11桁まで入力できます。184または186から始まる番号は登録できません。

先頭一致発信許可番号を修正するには
最後の1桁を消す：クリア/マナー を押す
すべての桁を消す：クリア/マナー を約 1 秒以上押す

設定済みの先頭一致発信許可番号を未登録に戻すには
設定されている先頭一致発信許可番号を消し、未入力の状態にしてから、手順 6 に進みます。

6 （登録）

先頭一致発信許可が設定され、「登録しました」と表示されます。

7 必要であれば、手順 4 〜 6 の要領で他の番号を同様に設定する

登録した番号を削除するには

先頭一致発信許可の一覧画面にて、次の操作を行ってください。

1 ◉ で削除したい番号を選択 → ⋯

サブメニューが表示されます。

2 次の項目より選択 → ◉

1 一件削除
2 選択削除
3 全件削除

確認画面が表示されます。

3 ◉ で「Yes」を選択 → ◉

2を選択した場合は、チェックを付けた番号を一括して削除できます。

お知らせ

- お買い上げ時は「未登録」です。
- 先頭一致発信許可を設定しても、オフィスモード、グループモードでの発信は制限されません。
- 位置情報通知機能（自己位置通知機能の「位置情報とステータスコードの登録」）の発信も、先頭一致発信許可の設定に従って、発信が許可されます。「自己位置通知機能を利用する」（☞ 6-36 ページ）
- 先頭一致発信許可を設定した場合でも、先頭に 184 または 186 を付けて発信することは可能です。
- 先頭一致発信許可に関係なく、以下の発信は可能です。
  110（警察）、116（ワイモバイル カスタマーセンター）、117（時報）、118（海上保安庁）、119（消防等）、141（留守番電話サービスメッセージあり確認）、143（留守番電話のカスタマーコントロール）、157（データ通信専用窓口）、171（災害時伝言ダイヤル）、177（天気予報）、＊931（留守番電話サービス再生）
- 発信制限を「ON」に設定し、同時に先頭一致発信許可も設定している場合は、電話帳に登録されている電話番号に加えて、先頭一致発信許可で設定した電話番号への発信も可能です。

赤外線通信を制限する

赤外線での送受信をできないようにします。「赤外線通信を行う」（☞ 2-42 ページ）

1 待ち受け画面で ◉ 5JKL 7PQRS

「管理者パスワードを入力して下さい」と表示されます。

2 管理者パスワード認証を行う

「管理者パスワードで認証を行う」（☞ 5-18 ページ）

「管理者ロック」画面が表示されます。

3 8TUV

「赤外線制限」画面が表示されます。

4 次の項目より選択 → ◉

1 ON
赤外線制限を設定します。

2 OFF
赤外線制限を解除します。

赤外線制限が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

位置情報通知設定を制限する

位置情報通知の設定を変更できないようにします。「位置情報を利用する」（☞ 6-34 ページ）

1 待ち受け画面で ◉ 5JKL 7PQRS

「管理者パスワードを入力して下さい」と表示されます。

2 管理者パスワード認証を行う

「管理者パスワードで認証を行う」（☞ 5-18 ページ）

「管理者ロック」画面が表示されます。

3 5JKL 1

「位置情報通知設定制限」画面が表示されます。

4 次の項目より選択 → ◉

1 ON
位置情報通知設定制限を設定します。

2 OFF
位置情報通知設定制限を解除します。

位置情報通知設定制限が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

機能ロック設定を制限する

機能ロックの設定を変更できないようにします。設定の変更を制限するだけなので、すでに設定されている機能ロックについては、そのまま継続されます。「ユーザの情報をロックする（機能ロック）」（☞ 5-15 ページ）

1 待ち受け画面で ● 9 7

「管理者パスワードを入力して下さい」と表示されます。

2 管理者パスワード認証を行う

「管理者パスワードで認証を行う」（☞ 5-18 ページ）
「管理者ロック」画面が表示されます。

3 9 2

「機能ロック設定制限」画面が表示されます。

4 次の項目より選択 → ●

1 ON
機能ロック設定制限を設定します。

2 OFF
機能ロック設定制限を解除します。

機能ロック設定制限が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ
- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

ダイヤルロック設定を制限する

ダイヤルロックの設定を変更できないようにします。「ダイヤルをロックする（ダイヤルロック）」（☞ 5-8 ページ）

1 待ち受け画面で ● 9 7

「管理者パスワードを入力して下さい」と表示されます。

2 管理者パスワード認証を行う

「管理者パスワードで認証を行う」（☞ 5-18 ページ）
「管理者ロック」画面が表示されます。

3 9 3

「ダイヤルロック設定制限」画面が表示されます。

4 次の項目より選択 → ●

1 ON
ダイヤルロック設定制限を設定します。

2 OFF
ダイヤルロック設定制限を解除します。

ダイヤルロック設定制限が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ
- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

リモートロック設定を制限する

リモートロックの設定を変更できないようにします。「紛失／盗難時に電話機をロックする（リモートロック）」（☞ 5-10 ページ）

1 待ち受け画面で ● 9 7

「管理者パスワードを入力して下さい」と表示されます。

2 管理者パスワード認証を行う

「管理者パスワードで認証を行う」（☞ 5-18 ページ）
「管理者ロック」画面が表示されます。

3 9 4

「リモートロック設定制限」画面が表示されます。

4 次の項目より選択 → ●

1 ON
リモートロック設定制限を設定します。

2 OFF
リモートロック設定制限を解除します。

リモートロック設定制限が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ
- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

機能制限一覧

管理者ロックによって制限される機能は以下のとおりです。なお、「赤外線制限」、「位置情報通知設定制限」、「機能ロック設定制限」、「ダイヤルロック制限」、「リモートロック制限」については、それぞれ赤外線通信、位置情報通知設定、機能ロック設定、ダイヤルロック設定、リモートロック設定のみを制限します。

管理者ロック設定 / 制限される機能	Eメール制限	オンラインサインアップ制限	ダイヤルアップ制限	USB制限	発信制限	着信制限	先頭一致発信許可
音声発信	—	—	—	—	○ ※2	—	○ ※3
音声着信	—	—	—	—	—	○ ※2	—
ライトメール送信	—	—	—	—	○ ※2	—	○ ※3
ライトメール着信	—	—	—	—	—	○ ※2	—
E メール送受信	○ ※4	—	○ ※1	—	—	—	—
オンラインサインアップ	—	○	—	—	—	—	—
リモートロック	—	—	—	—	—	—	—
位置情報通知機能（自己位置通知機能の「位置情報とステータスコードの登録」）	—	—	—	—	○ ※2	—	○ ※3
位置情報通知機能（位置検索）	—	—	—	—	—	—	—
H" 問屋	—	—	—	○	—	—	—
電話帳編集	—	—	—	—	○ ※5	○	—

○　：制限あり
—　：制限なし
※１：ワイモバイルのダイヤルアップのみ許可
※２：電話帳に登録されている電話番号のみ許可
※３：先頭一致発信で許可されている番号のみ許可
※４：「送受信共に制限」設定時は送受信ともに制限あり、「送信のみ制限」設定時は送信のみ制限あり
※５：「ON（電話帳編集可）」設定時は電話帳の編集可能

設定をリセットする（リセット）

設定した各機能や登録内容を、お買い上げ時の状態に戻すことができます。
設定だけをリセットしてお客様が登録した内容を残す「オール設定リセット」と、設定も登録内容もすべてお買い上げ時の状態に戻す「完全消去＋初期化」の２つがあります。「完全消去＋初期化」の場合は、管理者パスワードの入力が必要になります。

1 待ち受け画面で ● 9wxyz 4ghi

「リセット」画面が表示されます。

2 次の項目より選択 → ●

1 オール設定リセット
暗証番号認証を行います。「暗証番号で認証を行う」（☞ 5-6 ページ）

2 完全消去＋初期化
管理者パスワードの入力が必要になります。「管理者パスワードで認証を行う」（☞ 5-18 ページ）

1の場合は「すべての設定をリセットしますか？」と表示されます。
2の場合は「完全消去＋初期化しますか？」と表示されます。

3 ◎ で「Yes」を選択 → ●

1の場合は「本当にすべての設定をリセットしますか？」と表示されます。
2の場合は「本当に完全消去＋初期化しますか？」と表示されます。

4 ◎ で「Yes」を選択 → ●

設定がリセットされ、「リセットしました」と表示されます。

●：お買い上げ時の状態になります。
　お買い上げ時の設定内容は「メニュー一覧表」（☞ 6-2 ページ）をご覧ください。
―：お客様が登録または設定した内容が保存されたままになります。

機　能			オール設定リセット	完全消去＋初期化
発信履歴／着信履歴／番号メモ			●	●
文字入力	コピー／カットデータ		―	●
	予測変換機能		●	●
	入力方法		●	●
	学習文字内容		―	●
プロフィール			― （オンラインサインアップで取得したメールアドレスは消えます）	●
メール			― （メール BOX の内容、受信 BOX 名、振り分け設定などはすべて残ります）	●
	E メールアカウント設定		●	●
	オプション	引用設定	●	●
		フォルダ表示切替	●	●
	オンラインサインアップ		●	●
	インターネット設定		●	●

機　能			オール設定リセット	完全消去＋初期化
スケジュール	登録したスケジュール		—	●
		通知設定	—	●
	スケジュール音設定		●	●
	休日設定		—	●
機能設定	音		●	●
	日付／時刻	時計設定	—	●
		自動補正	●	●
	画面		●	●
	文字入力	ユーザ辞書	—	●
		自作定型文登録	—	●
		学習文字クリア	— （クリアされません）	●
	マナー／留守電		●	●
	通信	待受モード	—	— （グループ、公衆＋グループ時は公衆。公衆登録がなくオフィス登録がある場合はオフィス）
		グループ	—	●
		位置情報通知	—	●
		インターネット設定	●	●
		通信中着信	●	●
		オフィス番号切替	●	●
		送話レベル設定	—	●
		通話環境設定	●	●
	発着信		（ただし、着信拒否を除く）	●
	カスタムボタン		●	●
	その他	USB 充電	●	●
		電源 OFF メニュー	●	●
電話帳			— （電話帳登録した内容はそのまま残ります）	●
	電話帳一覧（表示方法）		●	●
	グループ設定	グループ名	●	●
		グループ着信設定	—	●
	ロック中着信表示		●	●
アクセサリ			● （メモ録音データ、メモ帳の登録内容は残ります）	●
セキュリティ			—	●